

平成23年度

岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書

(平成22年度事務事業対象)

平成24年3月

岩出市教育委員会

はじめに

岩出市教育委員会では、本市の第一次長期総合計画に掲げたまちづくりの基本方針である「21世紀を担う人づくり」の実現に向け、学校教育の充実並びに青少年健全育成、生涯学習・スポーツの推進及び文化・芸術の振興に努めて参りました。

また、平成22年度の重点目標として「豊かな学力の育成と地域教育力の向上」を掲げ、重点目標の推進に当たっては、家庭や地域社会との連携協力を図りながら、取り組んでいるところです。

本報告書は、本市教育委員会の課題や、今後の取組みの方向性を明らかにし、教育行政の一層の推進を図るとともに、市民から信頼される市教育行政を推進するため、平成22年度に実施した事務事業の点検評価をまとめたものです。

点検評価の結果を踏まえ、よりよい教育の実現を目指し、教育行政の充実に努めて参ります。

平成24年3月

岩出市教育委員会

目 次

I	岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価の報告について	
1	点検・評価の経緯	1
2	点検・評価方法について	1
3	教育委員会評価委員	1
4	教育委員会事業の概要	2
	【教育総務課】	
(1)	豊かな学力の育成	2
(2)	安全・安心な教育環境の整備	3
(3)	安全・安心な学校給食の充実と徴収率の向上	4
	【生涯学習課】	
(1)	青少年の健全育成	5
(2)	生涯学習の推進	5
(3)	文化・芸術の振興	6
II	各課の事業に対する点検評価結果について	
1	点検評価結果	
	【教育総務課】	
(1)	学校教育の充実	8
(2)	子育て環境の充実	11
(3)	国際交流の推進	11
	【生涯学習課】	
(1)	青少年の健全育成	12
(2)	生涯学習の推進	13
(3)	文化・芸術の振興	15
(4)	人権尊重の推進	16
2	教育委員会事務評価一覧表	
	【教育総務課】	
	事務事業評価一覧表	18
	【生涯学習課】	
	事務事業評価一覧表	22
III	関連資料	
	○平成23年度教育委員会事務評価に関する意見書の提出について	27
	○岩出市教育委員会外部評価委員会設置要綱	30

I 岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価の報告について

1 点検・評価の経緯

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、PDCA のマネジメントサイクルの確立をすべく、平成22年度における岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価について岩出市第一次長期総合計画に基づき実施した事業のうち、主な36事業について点検・評価を実施した。

2 点検・評価方法について

点検・評価の方法については、教育総務課、生涯学習課の2課で各事業をその目的ごとに、施策としてまとめ、施策単位で評価を実施した。

評価については、4段階（a期待以上、b期待どおり、cやや下回る、d期待以下）の基準を設けた。

評価の今後の方向性については、「廃止」、「見直し」、「完了」、「継続」の4つの方向性の基準を設けた。

点検・評価の報告書については、平成24年2月20日と2月27日、2回の教育委員会評価委員会を開催し、本市の教育に関し学識経験を有する方々に意見、助言をいただき、確認のうえ取りまとめた。

各事業については、平成22年度教育委員会事務事業評価一覧表のとおりである。

3 教育委員会評価委員

氏 名	職 名	
藤井 均	岩出市元校長・社会教育委員	委員長
富永茂郎	岩出市青少年育成市民会議委員	副委員長
山田恭央	岩出市公民館運営審議会委員	

4 教育委員会事業の概要

岩出市教育委員会では、本市第一次長期総合計画の基本方針である「21世紀を担う人づくり」を目指し、その実現のために「学校教育の充実」「青少年の健全育成」「生涯学習の推進」「文化・芸術の振興」「国際交流の推進」「人権尊重の推進」を主要施策として掲げ、教育総務課、生涯学習課の2課において各事務事業を実施した。

教育総務課においては、「(1) 豊かな学力の育成」、「(2) 安全・安心な教育環境の整備」、「(3) 安全・安心な学校給食の充実と完全徴収」の3つの項目を重点事業として実施した。

(1) 豊かな学力の育成

(ア) 学力向上対策実践事業

「学力向上対策実践事業」としては、「適応指導教室事業」、「外国青年招致事業」、「確かな学力育成のための実践研究事業」を実施した。

「適応指導教室事業」では、嘱託学校教育指導員2名を配置し、不登校気味の児童・生徒に対する教育相談や指導員と担任教師が連携をとることにより、在籍校への復帰を図っている。

教室では児童・生徒の個々の立場に立ち、相談及び適応指導を行っている。

平成22年度では、中学生10名が入室し、全員がほとんど休まず通級し、学力の定着と基本的な生活習慣が身につくことができ、心の安全を図ることができた。

また、3名が普通高校へ、1名が高等専修学校へ進学した。

「外国青年招致事業」では、中学校においては、平成24年度の新学習指導要領から英語授業が現行の週3回から4回になり、ますます英語教育が重要な教科になる。

特に聴く・話すが必要なことから、英語教育や国際理解の充実に寄与した。

「確かな学力育成のための実践研究事業」では、山崎北小学校（国語科 2年目）、山崎小学校（算数科 1年目）の2校を指定し、小・中学校の国語科及び算数科教育の拠点校として指導方法の工夫改善、教材・教具の開発、授業実践研究、理論研究を中心に研究を進めている。

その結果、この2校では、教職員の授業に対する意識改革がなされ、少しずつ学力も向上してきている。

(イ) 就学援助費補助事業

「就学援助費補助事業」においては、「特別支援教育就学奨励費扶助事業」、「要保護、準要保護児童・生徒扶助事業」を実施した。

「特別支援教育就学奨励費扶助事業」では、小・中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学児童・生徒用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費を支給し、就学の援助を行い経済的な負担軽減を図った。

小学校では44名、中学校では12名に対し特別支援教育就学奨励費扶助事業を実施した。

「要保護、準要保護児童・生徒扶助事業」では、経済的理由によって就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学児童・生徒用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費を支給し、就学の援助を行い経済的な負担軽減を図った。

小学校では489名、中学校では273名に対し要保護、準用保護児童・生徒扶助事業を実施した。

(2) 安全・安心な教育環境の整備

(ア) 教育環境の整備事業

「教育環境の整備事業」としては、「小・中学校施設改修事業」、「中学校太陽光発電整備事業」による施設の充実と「学校図書システム整備事業」「小・中学校教材教具等の整備」による教育環境の充実に寄与した。

「小・中学校施設改修事業」では、小・中学校の補修工事及び通学路整備工事を実施した。

小学校の補修工事については、岩出小学校ではインターホン設置工事を実施した。

その他、山崎小学校では廊下手洗い増設工事、山崎北小学校では児童玄関庇補修工事、音楽室空調設備工事、根来小学校では校舎廊下壁塗装工事、遊具設置工事、上岩出小学校ではプール付属棟改修工事、音楽室黒板取替工事、各小学校消防用設備改修等の工事を実施した。

また、中学校の補修工事については、岩出中学校ではプール撤去工事、教室建具改修工事、岩出第二中学校では電気設備工事、各中学校消防用設備改修工事等の工事を実施した。

また、通学路整備工事については、岡田地区外通学路整備工事他4件の工

事を実施した。

以上の事業を行った結果、教育環境の整備や児童・生徒の安全確保が図れた。

「中学校太陽光発電整備事業」では、平成 21 年度の繰越事業として岩出中学校と岩出第二中学校に太陽光発電を整備したことにより、CO₂ の削減及び電気料金の節減ができ、環境教育の教材として活用ができた。

「学校図書システム整備事業」では、学校図書の管理、貸し出しをスムーズに行い、子どもの読書活動を促した。

なお、平成 21 年度の中央小学校に引き続き、平成 22 年度は山崎小学校と山崎北小学校に整備した。

また、岩出小学校、根来小学校、上岩出小学校、岩出中学校、岩出第二中学校については、3 月補正で国の補助事業として採択され、平成 22 年度の繰越事業として一括して導入する。

「小・中学校教材教具等の整備事業」では、平成 23 年度からは小学校で、平成 24 年度からは中学校で完全実施される新学習指導要領により、新たに授業で必要となる教材・教具の整備や図書の購入を行った。

児童・生徒用図書の購入については、小学校では 3, 009 冊を購入し、蔵書数が 77, 733 冊となり、また、中学校では 1, 469 冊を購入し、蔵書数が 35, 555 冊となり、文部科学省の「学校図書館図書標準」による「標準冊数」小学校 66, 760 冊、中学校 33, 920 冊を小・中学校とも充足している。

(3) 安全・安心な学校給食の充実と完全徴収

「学校給食運営事業」では、児童・生徒に栄養バランスのとれた安全で安心な給食を提供し、心身の健全な育成を図ることを目的に、地元産の安全で新鮮な食材の活用を図った。

また、円滑な学校給食運営を推進するため、給食費の滞納者に対しては、和歌山簡易裁判所に支払督促申立を行うとともに、全庁体制による徴収だけでなく、夏季・冬季徴収、電話催告や随時の臨戸徴収を行い、完全徴収に努めている。

次に、生涯学習課においては、「(1) 青少年の健全育成の推進」、「(2) 生涯学習の推進」、「(3) 文化・芸術の振興」の3つの項目を重点事業として実施した。

(1) 青少年の健全育成の推進

青少年の健全育成の推進においては、次代を担う青少年の健全な育成を図るため、市民の意識の高揚と自主的な活動、青少年の健全育成を目的とした各種団体との連携を図り、子どもを守るネットワークの構築や、見守り活動の強化及び防犯カメラの活用により、犯罪の起こりにくい環境づくりに寄与することができた。

また、「あいさつ運動」により、地域の方々との交流を通じて安心して登下校ができた。

青少年を取り巻く環境浄化を図るため、学校・警察・行政で構成する「岩出市内児童生徒を守る協議会」と、各種関係団体との連携による大型店舗での非行防止啓発を実施した。

各種関係団体等の連携による岩出駅周辺環境浄化パトロールでは、駅前での清掃作業や登下校時の生徒に声かけ運動を実施した。

青少年センターにおいては、青少年非行の早期発見、早期補導、その他青少年の不良化防止活動を有効かつ適切に行い、学校・警察・各種団体と連携を密にし、青少年健全育成のため取組んだ。

放課後子ども教室推進事業においては、市内6小学校71教室で、256回開催し、延べ9,592名が参加した。

(2) 生涯学習の推進

生涯学習の推進においては、子どもから高齢者まで、一人一人が個性や能力を伸ばし、生きがいのある充実した生活を送るため、学習機会の提供と環境づくりを行った。

公民館文化教室では、16講座で、延べ357名が受講し、知識や技術を身に付けるだけでなくともに学習する仲間として、人と人との結びつきを深めることができた。

成人講座では、10講座で、延べ878名が受講し、現在社会が抱える課題を教材として学習し、相互のふれあいと交流を深め、地域社会の発展に寄与することができた。

公民館フェアでは、公民館文化教室及び公民館利用サークルによる日頃の成果発表を通じて、人々の出会い・ふれあいの機会をつくり、公民館活動や文化活動に対する理解と関心を深めることができ、コンサートに12団体、258名、ギャラリーに16団体、257名が参加した。

公民館においては、市民の高まる学習意欲やニーズに対応した生活に役立つ学習、文化的な学習、地域に貢献できる学習等の教室や講座を実施した。

事業としては、

- (ア) 文化教室等による文化活動の成果を発表する場として、公民館フェアの開催。
- (イ) 市民の方を対象とした文化教室として、書道教室、英会話教室、韓国語教室等を開催。
- (ウ) 成人講座として、行政講座や歴史講座等を開催。
- (エ) パソコン教室の開催。
- (オ) 子どもを対象とした夏・冬の子ども講座として、お菓子教室等を開催。
- (カ) 高齢者を対象としたふれあい学級として、歴史講座や健康教室等を開催。

スポーツ事業として、市民運動会では9,801名の参加があり、市民のスポーツ振興と、レクリエーションの普及・浸透や健康増進を図り、市民相互のふれあいと交流を深める機会を提供することができた。

岩出マラソン大会では、2,420名の参加があり、市外からの多くの参加者に岩出市を広くPRすることができ、また、参加者間の交流により互いに触れ合うことができ有意義な大会であった。

競技力の向上と育成、活動の活性化を図るため、スポーツ少年団や体育協会等への補助や、全国大会等に出場する選手に補助することで、生涯スポーツの振興と青少年の健全育成等に寄与することができた。

全国大会は5件、近畿大会は6件、県大会は10件で、合計21件の補助を行った。

(3) 文化・芸術の振興

文化・芸術の振興においては、多種多様な芸術・文化に触れる機会の提供、また、図書館事業や民俗資料館事業の充実に努め、文化財や文化的資源の保護・活用し、伝統的行事や民俗芸能の伝承を促進し、文化・芸術の振興を図った。

岩出図書館においては、子育て支援事業として、総合保健福祉センター図書室内に子育て支援コーナーを設置することにより、育児中の母親等に子育てに関する書籍や情報を提供することができた。

図書館利用促進事業として、各種のイベント事業、講演会、DVD上映会等

を開催することにより、市民の図書館に対する理解と関心を深め、利用促進が図られた。

平成22年度の入館者数は、岩出図書館及び分館・分室合わせて210,543名、蔵書数は、214,387冊、貸出冊数は、365,339冊、登録者数は、21,701名であった。

今後も、地域密着型図書館として、市民の身近にあって、「いつでも、どこでも、誰にでも」図書館サービスを受けられるよう努める。

民俗資料館においては、市民からの歴史・文化についての学習に対するニーズに応えるとともに、次代を担う小・中学生や、若い世代の方にも郷土の歴史文化を学ぶ機会を提供した。

秋季企画展や歴史講座では、多くの方に市の歴史や文化に関心と理解が得られ、また、体験学習では親と子のふれあい及び児童間の交流も図ることができた。

なお、秋季企画展では、入館者数は7,635名で、記念講演では60名の参加があり、歴史講座は2回開催し、合計で149名の参加があった。

今後も、岩出の歴史、文化、観光の中心地として関心が高い根来寺の豊かな自然と歴史文化の活用・保全を図っていきます。

伝統工芸の伝承や民俗芸能等の調査・保存に努め、指導者や後継者の育成を図り、伝統文化や文化遺産の保存・継承を促進します。

全国子守唄サミット&フェスタでは、子守唄の保存・継承に努めている全国の加盟団体（7団体）と交流を深めることができ、根来の子守唄を全国に発信することができた。

平成22年度は、岡山県井原市で開催され、根来の子守唄保存会と根来鉄砲隊が参加した。

Ⅱ 各課の事業に対する点検評価の結果について

1 点検評価結果

【教育総務課】

(1) 学校教育の充実

〔基本方針〕

生涯にわたる人間形成の観点から生涯学習の基礎を培い、豊かな心と多様な社会環境に適応できる能力を持った児童・生徒の育成に向けて、教育施設や教育内容の充実を図る。

また、「生きる力」を育むため、個人の尊厳と個性の尊重という基本的な考えに立ち、一人一人の能力と個性に応じた教育実践に努め、家庭や地域との連携による指導の充実などを行う。

〔平成22年度の主な取組状況〕

- いわでアスリートクラブ事業を立ち上げ、陸上競技を通じて、児童・生徒の心身の健全育成に努めた。
実施回数：46回 登録者数：165名
実施場所：中央小学校又は大宮緑地総合運動公園
- 適応指導教室事業では、学校や関係機関と連携を図り、児童・生徒の在籍校への復帰に努めた。
入室生徒数：10名
相談来所者：18名 電話相談件数：6件 訪問件数：4件
- 小・中学校の補修工事については、優先順位により計画どおり事業を実施し、児童・生徒の安全確保に努めた。
- 児童の読書環境の充実強化を図るため、年次計画により小学校2校に学校図書システムを導入し、子どもたちの読書を促すことに努めた。
山崎小学校、山崎北小学校に、それぞれパソコン1台、プリンタ1台、設置台、ソフト導入及びウイルス対策を行った。
- 児童携帯用防犯ブザーを補助し、登下校時の危険防止に努めた。
280名分を補助 申請率46%
- 授業における実践研究を行うことにより、教職員の資質向上を図り、児童・生徒の確かな学力育成に努めた。
山崎北小学校(2年目)国語科 山崎小学校(1年目)算数科

- 緑育推進「元気な森の子」事業については、自然と触れ合う機会が減少している子どもたちに、森林体験等を通して貴重な体験ができた。
参加児童数：651名 場所：日高川町 日高川ふれあいドーム
- 特別支援教育の就学奨励費扶助事業を実施することにより、保護者の負担軽減に努めた。
小学校：44名 中学校12名
- 要保護、準要保護児童・生徒扶助事業を実施することにより、保護者の負担軽減に努めた。
小学校 489名 中学校273名
- 中学校2校に太陽光発電を整備したことにより、CO₂削減及び電気料金の節減ができ、環境教育の教材として活用できた。
- 事業所の協力により、職場体験を実施することができた。
岩出中学校2年生 287名 74事業所
岩出第二中学校2年生 304名 99事業所
- 授業の一環として中学校の防災訓練を実施した。また、防災の啓発・指導・実践活動ができるジュニアリーダーの育成を行った。
防災訓練
岩出中学校3年生 282名 岩出第二中学校3年生 285名
防災ジュニアリーダー 18名参加
- 私立幼稚園の就園奨励費補助事業を実施することにより、保護者の負担軽減が図られた。
11園に私立幼稚園就園奨励費補助金を交付
- 学校給食については、児童・生徒に栄養バランスの取れた安全で安心な給食の提供に努めた。
地産地消の推進 旬の野菜35品目使用

〔総合評価〕

- ◎ 学校教育の充実については、15事業の評価を実施し、総合評価は「期待以上」が2事業、「期待どおり」が11事業、「やや下回る」が1事業と評価したが、「ブロック塀耐震化補助事業」については、総合評価において「期待以下」という評価となった。この事業は、平成22年度で申請がなかったことから、期待以下の評価となったが、児童・生徒の安全確保を図るため必要な事業であり、今後、地域住民への周知に努めていく必要がある。今後の方向性は「継続」が14事業、「完了」が1事業とした。
- いわでアスリートクラブ事業については、登録者も多く成果が上がっているが、今後、継続して実施していくためには、指導者の確保に努める必

要がある。

- 適応指導教室事業については、依然、入室困難な児童・生徒がいるため、学校や他機関との連携強化を更に図っていく必要がある。
- 学校図書システム整備事業については、図書システムへの一括入力や発注が容易にできる、図書発注システムの導入が必要である。
- 児童携帯用防犯ブザー補助事業については、登下校時における危険防止に効果を挙げており、今後も携帯率向上に努める必要がある。
- 学校給食運営事業については、円滑な給食運営を推進するために、支払督促申立てによる預金や給与の差押えを行い、収納率の向上に努める必要がある。

〔外部評価委員の意見〕

- いわでアスリートクラブ事業については、指導者が少ないそうだが、大変有意義な取り組みであるので、指導者の確保に努め、今後も継続して実施していただきたい。
- 適応指導教室については、適応指導教室にも来ることが出来ない、不登校児童・生徒の対応について、今後も学校や他機関との連携をさらに強化し、取り組んでもらいたい。
- 小学校学校図書システム整備事業については、全ての小中学校に整備し、子どもたちの読書活動をさらに推進してほしい。
- ブロック塀耐震化補助事業については、平成22年度は補助申請がなかったことから、d評価となっていますが、もう少し補助内容の充実が必要では、また、児童・生徒の安全確保を図るため必要な事業であることから、地域住民への周知徹底が必要である。
- 児童携帯用防犯ブザー補助事業については、登下校時における危険防止に効果を挙げており、今後も携帯率向上に努めてほしい。
- 学校給食運営事業については、収納率の問題からC評価となっていますが、円滑な学校給食運営を推進するためよく取り組んでいると思います。今後、支払督促申立てによる預金、給与差押や学校との連携を一層強化し、徴収率向上に取り組んでもらいたい。

(2) 子育て環境の充実

〔基本方針〕

地域子育て環境の充実については、児童の健全育成を図るため、家庭と地域社会が一体となった良好な社会環境づくりに努める。

学童保育については、各地区での実施に向け、保育時間や指導員の体制づくりに努める。

〔平成22年度の主な取組状況〕

- 共働き世帯を対象に、放課後において子どもの居場所づくりのための事業として、シルバー人材センターに委託し、放課後児童健全育成事業（学童保育）を実施した。

市内6ヶ所（7教室）で実施
小学校1年生から3年生対象

〔総合評価〕

- ◎ 子育て環境の充実については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」で、今後の方向性は「継続」とした。
- 放課後児童健全育成事業については、放課後の健全育成が図れるため、効果が高くより一層の充実に努める必要がある。

〔外部評価委員の意見〕

- 放課後児童健全育成事業については、共働きの保護者からも大変喜ばれており、今後も子どもの居場所づくり事業として、より一層の充実に努められたい。

(3) 国際交流の推進

〔基本方針〕

情報提供サービス等の充実に努め、民間による国際交流・地域ぐるみの国際交流を推進するほか、住民ボランティアの育成を図るなど、住民参加型の国際交流を展開する。

〔平成22年度の主な取組状況〕

- 外国の青年を英語指導助手として招致し、中学校で英語教育を実施した。岩出中学校、岩出第二中学校に2週間ごとに英語授業の助手として勤務。

〔総合評価〕

- ◎ 国際交流の推進については、1 事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 外国青年招致事業については、英語教育や国際理解の充実に大きな役割を果たすことから、今後も継続した実施が必要である。

〔外部評価委員の意見〕

- 外国青年招致事業については、英語教育や国際理解の充実に大きな成果を果たすことから、今後も継続実施に努めてもらいたい。

【生涯学習課】

(1) 青少年の健全育成

〔基本方針〕

青少年各団体の活動の充実と各組織との連携の強化に努め、家庭・学校・地域及び行政がそれぞれの果たす役割を明確にし、青少年を取り巻く様々な問題について取組み、子どもの育つ環境を守るとともに、地域社会を形成している大人に対しても、青少年の健全育成に対する重要性や意識の向上に努める。

〔平成22年度の主な取組状況〕

- 青少年が心豊かに成長することを願い、青少年の健全育成の一環として、「青少年育成市民会議」を始め、各組織の強化・充実に努めた。
- 「あいさつ運動」、「ごみ集め運動」、「子ども安全パトロール隊」などの活動を通じて、青少年の取り巻く環境の安全確保を図った。
- 青少年センターでは、青少年の健全育成及び非行防止として、不良行為の早期発見、早期指導、補導活動、少年相談、立ち直り支援などに努めた。

〔総合評価〕

- ◎ 青少年の健全育成については、2事業の評価を実施し、総合評価は「期待以上」、「期待どおり」で、今後の方向性は「継続」であり、今後も、学校・警察・青少年センター及び家庭・地域関係団体等が行政と一体となって、青少年が健やかに育つ環境づくりに努める。

〔外部評価委員の意見〕

- 青少年育成市民会議助成事業については、他の市町村に比べ、内容的にも大変充実した活動をしており評価できる。

(2) 生涯学習の推進

〔基本方針〕

市民一人一人きがいを持って、人生を送ることのできる活力あるまちづくりを進めるため、学習者の主体性を尊重し、「いつでも、どこでも、誰でも学べる」、「共に生き、共に学ぶ」ことができる環境づくりに努める。

〔平成22年度の主な取組状況〕

- 放課後子ども教室推進事業については、子どもたちの安全・安心な居場所づくりのため、小学校の空き教室等を利用して、地域の方々の参画を得て、学習活動・文化活動を通して、地域住民との交流活動に取り組んだ。

6小学校で71教室、参加児童延べ人数は9,592名の参加

- 公民館事業については、市民一人一人が生涯学習の各過程において、適切に学習できる「場」と「機会」を提供し、あらゆる世代に親しまれる公民館活動を実施した。

文化教室は、16講座、受講者数は延べ357名の参加。

成人講座は、10講座、受講者数は延べ878名の参加。

ふれあい学級は、11講座、受講者数は延べ1,554名の参加。

パソコン教室は、13教室、受講者数は218名の参加。

家庭教育学級は、10か所（保育所（園）、幼稚園）受講者数は844名の参加。

公民館フェアは、コンサート12団体で258名の参加。

ギャラリー16団体で257名の参加。

- 民俗資料館体験学習事業については、小・中学生歴史ウォーク体験学習として、根来寺歴史散策と周辺の自然環境を体験した。

参加者数は、30名。

- 生涯学習振興事業については、文化祭の前夜祭として、生涯学習を考えるつどいコンサートを実施した。

マリンバーコンサートを実施し、353名の参加。

- 負担金・補助金事業については、市民の健全な体育及びレクリエーションの振興、青少年の健全育成のため、補助金を交付した。
- 市民運動会事業については、市民のスポーツ振興とレクリエーションの普及・浸透を図り、よりよい人間関係を育むと共に、明朗・活発な人間育成のため実施した。

参加者数は、9,801名

- 岩出マラソン大会実行委員会助成事業については、参加者に健康と体力づくりのため、生涯スポーツの普及と振興を推進するとともに、マラソン大会を開催することにより、岩出市を広くPRすることを目的に開催した。

参加者数は、2,420名

- スポーツ教室事業については、市民のスポーツ振興を図り、健康で明るいまちづくりを推進する事を目的に実施した。

親子教室は、147組で294名の参加。

ヨガ教室は、63名の参加。

エアロビクスは、69名の参加。

- 大会等派遣事業については、スポーツ活動の振興とスポーツ活動団体の育成を図るため、各種スポーツ大会の出場に要する経費の一部を補助した。

全国大会は5件、近畿大会は6件、県大会は10件の計21件。

- 若もの広場トイレ増設事業については、障害者の社会参加を一層促進するため、整備した。

洋式2基、和式5基、障害者用1基

- 総合体育館身体障害者用トイレ整備事業については、障害者の社会参加を一層促進するため、多目的トイレを整備した。

1階 オストメイト新設、車イス対応、手摺取替

2階 車イス対応、手摺取替

〔総合評価〕

- ◎ 生涯学習の推進については、11事業の評価を実施し、総合評価は全て「期待どおり」で、今後の方向性は「継続」が9事業、「完了」が2事業と

した。今後とも教室や講座等の事業の必要性や有効性等を常に検証しながら事業展開を図っていく必要がある。

〔外部評価委員の意見〕

- 公民館事業については、各地区公民館でアンケート調査をしているそうだが、今後さらに創意工夫して市民のニーズに合った教室や、講座を開催するよう努められたい。
- 民俗資料館体験学習事業については、参加者の問題でb評価となっていますが、夏休みの日曜日に30名の参加者を集めるのは大変であったと思うので、a評価に近いb評価ではないかと考えている。今後も、多くの児童・生徒の参加を得るための周知に努めてもらいたい。
- スポーツ教室事業については、市民の健康維持増進に貢献しており、さらに内容を工夫し、楽しく参加できるよう取り組んでほしい。
- 大会等派遣事業については、スポーツ少年団及び体育協会に属する者が対象であり、大会に出場する場合の経費の一部を補助していますが、スポーツ少年団にはできるだけ手厚くしたほうが良いと思いますが、体育協会については、上限を設けたことが適切であると思う。

(3) 文化・芸術の振興

〔基本方針〕

多種多様な芸術・文化に触れる機会を充実させるとともに、文化団体の育成など地域文化活動の支援に努める。

図書館では、市民の多様なニーズに対応できるよう様々なジャンルの資料を取揃え、本館と分館・分室のネットワーク化により、「いつでも、どこでも、誰にでも」図書館サービスが受けられるように、地域密着型図書館運営に努める。

また、文化財等や文化的資源の保護・活用を図り、伝統的行事や民俗芸能の伝承を促進し、文化・芸術の振興に努める。

〔平成22年度の主な取組状況〕

- 文化祭事業については、市民の文化活動の成果を発表する機会を設け、文化活動の振興と普及を図り、参加を通じて文化への理解を深め「活力あ

ふれるまち ふれあいのまち」づくりを目的に開催した。

参加人数は21,248名。

- 企画展開催事業については、市民の歴史・文化に関心と理解を深めていただくことを目的に開催した。

秋季企画展の入館者数は、7,635名

記念講演の参加者数は、60名

- 図書館子育て支援事業については、子育てに関する書籍や情報を取りまとめ、育児中の母親等に提供することを目的に、子育て支援コーナーを設置した。

- 図書館利用促進事業については、様々なイベントや講演会を開催し、図書館利用促進を図った。

入館者数は、210,543名

貸出冊数は、365,339冊

登録者数は、21,701名

〔総合評価〕

- ◎ 芸術・文化の振興については、4事業の評価を実施し、総合評価は「期待以上」が2事業、「期待どおり」が2事業で、今後の方向性は「継続」とした。
- 文化祭については、タイトルにあった催しに努め、企画・運営等を協議し、幅広い世代が参加できるよう努める。
- 秋季企画展については、歴史的資料を取上げた企画展示をし、記念講演では、できるだけ多くの方々に参加していただくため、関係機関及び文化協会等への周知を図り、啓発活動に努める。
- 図書館の利用促進については、各種のイベント等開催時期や内容等を検討し、更なる利用促進に努める。

(4) 人権尊重の推進

〔基本方針〕

重要課題である同和問題はもとより、女性、子ども、高齢者、障害者など

あらゆる人権問題の解決に向け、住民に対する人権意識の高揚に努める。

〔平成22年度の主な取組状況〕

- 人権啓発活動地方委託事業については、人権尊重思想の普及・高揚を図り、市民に人権問題に対する正しい認識を広めるため開催した。
- 保護者学級開設事業については、小学校の保護者を対象に、人権問題に関する認識と、人権教育を推進し、家庭や地域が果たす役割について、正しい認識をもつため、開催した。

19講座で、参加人数は、延べ1,346名

〔総合評価〕

- ◎ 人権尊重の推進については、2事業の評価を実施し、総合評価は全て「期待どおり」で、今後の方向性は「継続」とした。
- 人権問題に関する正しい認識と家庭や地域での果たす役割について、理解を得ることに努める。

〔外部評価委員の意見〕

- 保護者学級開設事業については、学校の保護者を対象に、人権学習や講演会等を実施することにより、人権問題に関する正しい知識と家庭や地域で果たす役割について理解を得ることができることから、今後も引き続き取り組んでほしい。

以上、岩出市第一次長期総合計画の施策に基づき、教育委員会評価委員会が教育委員会2課の全般的な事務事業の評価点検を行った。

教育委員会といたしましては、多様化する住民ニーズへの対応や教育課題の解消に向け、この事務事業の点検・評価を次の施策に反映できるよう、各事業の経常経費の削減や各種団体の補助金の見直しに取り組むとともに施設の改修や新規備品購入事業等については優先度や緊急度等を勘案し、引き続き計画的に事業実施に努めていかなければならないと考えます。

番号	主要施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
1	学校教育の充実	いわでアスリートクラブ事業	陸上競技を通じて、児童・生徒の心身の健全育成を図る。	毎週土曜日の午前中に、中央小学校又は大宮総合運動公園を使用して、岩出市内の小学3年生から中学3年生を対象に、陸上競技活動を実施する。	b	継続	継続して参加している児童・生徒は、着実に陸上の競技力が身につき、心身ともに向上が見られ成果が上がっている。今後、指導者の確保に努める。
2	〃	適応指導教室事業	心理的要因等により学校生活に適應できず登校できない児童及び生徒の在籍校への復帰を目的とする。	教室に指導員を置き、毎週月曜日から金曜日(国民の祝日等は除く)に、不登校児童・生徒に対する教育相談、在籍校への復帰や自立を図るための指導及び援助、学校等関係機関との連携を図る。	b	継続	広報やチラシにより周知を図っており、入室児童生徒数が10名と若干増加しているが、依然、入室困難な児童生徒がいるため、学校や他機関との連携強化しながら、児童生徒の在籍校への復帰を促進させたい。
3	〃	小・中学校施設改修事業	施設の補修及び通学路の整備工事等により安心して学習できる環境整備や児童の安全確保を図る。	小・中学校の補修工事及び通学路整備工事とそれに伴う設計監理業務委託ほか各種業務委託を実施する。	b	継続	各小・中学校の補修及び通学路工事の実施により、教育環境の整備や児童・生徒の安全確保が図られた。
4	〃	小学校学校図書システム整備事業	児童の読書環境の充実、強化を図る。	平成21年度から計画的に全ての小学校に図書システムを整備する。平成22年度は、山崎小学校、山崎北小学校に、パソコン1台、プリンタ1台、設置台、ソフト導入及びウイルス対策を実施する。	b	継続	導入後は、貸し出し、返却がスムーズになり、子どもたちに読書を促すことができた。今後、図書システムへの一括入力や発注の選書が容易になることから、図書発注システムの導入が必要である。
5	〃	ブロック塀耐震化補助事業	通学路に面したブロック塀等の倒壊による事故を未然に防止し、児童・生徒をはじめとする通行人の安全を確保する。	ブロック塀等の撤去、軽量塀等設置を補助する。	d	継続	児童・生徒の安全確保を図るため必要な事業であり、今後も補助制度を地域住民に対する周知に努める。

番号	主要施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
6	学校教育の充実	児童携帯用防犯ブザー補助事業	防犯ブザー購入費の一部を補助することにより、携帯率を高め、児童を犯罪から保護し、危険を防止する。	岩出市PTA連合会が防犯ブザーを購入する費用の1/2を補助する。ただし、児童・生徒1人につき1回限りとし、限度額400円。	b	継続	登下校における危険防止に効果を挙げており、今後も携帯率向上に努める。
7	〃	確かな学力育成のための実践研究事業	授業における実践研究を行うことにより、教員の資質向上を図り、児童の確かな学力を育成する。	山崎北小学校を国語研究の拠点校として、山崎小学校を算数研究の拠点校として、各小中学校と連携しながら、国語科及び算数科の実践研究を行い、児童・生徒の確かな学力を育成する。	b	継続	山崎北小学校は2年間の研究指定の2年目、山崎小学校は初年度であったが、教職員の授業に対する意識改革が随分なされたように思われる。今後、指定校以外の全ての学校にその効果が波及するよう、更なる指導方法の改善に取りこんでいきたい。
8	〃	緑育推進「元気な森の子」事業	森林や林業の事を学び、また実際に体験することにより、森林の保全や森林を守り育てる意識を醸成する。	森林体験学習前に、事前に森林や林業の事を参考資料を用いて事前学習を行い、その後、森林に入り、実際に間伐作業や木材加工を体験する森林体験学習を行う。最後に、事後学習としてこれまでの学習を振り返り、森林の大切さや保全について学習する。	b	継続	自然と触れ合う機会が減少している現在の子どもたちにとっては、貴重な体験ができる事業であり、環境教育としての役割を果たした。
9	〃	特別支援教育就学奨励費扶助事業(小・中学校)	特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費を国の基準により支給し、もって特別支援教育の振興に資する。	学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学児童・生徒用品費、通学用品費に対する奨励費である。支給については、年3回(7月、12月、3月)支給する。	b	継続	特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的な負担が軽減されることから、本事業の果たす役割は大きく、事業の継続が必要である。
10	〃	要保護、準要保護児童・生徒扶助事業(小・中学校)	経済的理由によって就学が困難と認められる児童生徒に対し、就学の援助を行い、もって義務教育の円滑な実施に資する。	学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学児童・生徒用品費、通学用品費に対する奨励費である。支給については、年3回(7月、12月、3月)支給する。	b	継続	要保護・準要保護児童・生徒の保護者の経済的な負担が軽減されることから、本事業の果たす役割は大きく、事業の継続が必要である。

総合評価

番号	主要施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
11	学校教育の充実	中学校太陽光発電整備事業	太陽光発電を整備することにより、CO2削減が見込まれ、電気料金の節減が見込まれる。また、教育環境の教材としての活用ができる。	岩出中学校太陽光発電整備及び岩出第二中学校太陽光発電整備に伴う設計監理業務委託及び工事費	a	完了	太陽光発電を整備したことにより、CO2の削減及び電気料金が節減でき、環境教育の教材として活用ができた。
12	〃	和歌山を元気にする職場体験事業	職場体験事業を実施することにより、生徒に望ましい勤労観及び職業観を身に付けさせる。	各中学校を拠点として、実行委員会及び事業所と連携しながら、職場体験事業を実施することにより、生徒に望ましい勤労観及び職業観を身に付けさせる。	b	継続	両校とも事業所の協力により、無事職場体験が実施できた。中学生が職業について考える有効な事業であり、今後も必要な事業である。
13	〃	中学校防災訓練及び防災ジュニアリーダー育成事業	中学生の危機意識を高めるとともに、災害時の地域防災活動において中心的な役割を担うことを意識づけるために防災訓練を実施する。	防災訓練は、夏休みの土曜日に、各中学校を会場に3年生を対象として実施する。防災ジュニアリーダー育成事業は、夏休みの2日間、那賀消防組合消防本部及び中消防署を会場に、中学生を対象に実施する。	a	継続	授業の一環としての防災訓練を実施することができた。今後も、こうした訓練を一層充実させ、中学生の防災意識の高揚を図り、防災の啓発・指導・実践活動ができるジュニアリーダーの育成に努める。
14	〃	私立幼稚園就園奨励費補助事業	私立幼稚園の設置者が保護者から徴収する保育料等を減免する場合には、当該私立幼稚園の設置者に対し、私立幼稚園就園奨励費補助金を交付することにより、保護者の負担を軽減し、もって幼児教育の振興に資することを目的とする。	私立幼稚園に在籍する本市に住所を有する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の岩出市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に該当した保護者に対し、設置者が保育料を減免する場合には、当該設置者に対し、補助を行う。	b	継続	保護者の経済的な負担を軽減するため、私立幼稚園に対する補助事業であり、今後も継続実施に努める。

平成22年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成22年4月1日～平成23年3月31日)

教育総務課

番号	主要施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
15	〃	学校給食運営事業	児童・生徒に栄養バランスの取れた安全な給食を提供し、心身の健全な育成を図ることを目的とする。	児童・生徒に栄養バランスの取れた安全で安心な給食を提供する。	c	継続	学校給食は、バランスの取れた内容となっている。今後も、地産地消の推進と安全な給食の提供を図るとともに、円滑な給食運営を推進するため、支払督促申立による預金、給与差押や学校との連携を一層強化し、収納率の向上に努める。また、調理器具の対応年数が近づき、部品の交換がむずかしくなっており、衛生面からも調理時間の短縮を考えた計画的な調理器具の入替えが必要である。
16	児童福祉・ひとり親家庭福祉の充実	放課後児童健全育成事業	共働き世帯を対象に放課後において、児童の健全な育成を図る。	社団法人シルバー人材センターに委託し、市内6ヶ所(7教室)で実施している。(平日は、13時から19時、土曜日は8時から19時開設、日曜休所)	b	継続	放課後の児童の健全育成が図れるため、効果が高い。今後も子供の居場所づくりのための事業として、より一層の充実に努める。
17	国際交流の推進	外国青年招致事業	生徒を対象に、外国語での授業を実施することにより、外国語教育の充実及び促進を図る。	外国の青年を英語指導助手として招致し、中学校で英語教育の授業を実施する。	b	継続	国際化が一層進展していく中、本事業は英語教育や国際理解の充実に大きな役割を果たすことから、今後も継続した実施が必要である。

平成22年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成22年4月1日～平成23年3月31日)

生涯学習課

総合評価

番号	主要施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
1	青少年の健全育成	青少年育成市民会議助成事業	岩出市青少年育成の中心的役割を担う、青少年育成市民会議に係る活動費を助成し、家庭・学校・地域及び行政が連携し、青少年の健全育成を推進する。	人間関係の確立や仲間意識・地域連帯意識を醸成するため、家庭・学校・地域社会が一体となった「市民総ぐるみの運動」を推進し、以下のことに取り組んでいる。 【1】活力ある地域活動の推進 【2】意識啓発のための活動 【3】関係機関・諸団体との連携強化と情報収集 【4】子どもを守るための活動	a	継続	青少年健全育成に関する事業の一つ一つが効果的に行われた。また支部会や地区育成会を通じて市民の方と接しても大変反応が良く使命感を持って取り組んでいただいた。今後、市民に周知を図り、地区育成会を増やして、青少年健全育成に努める。
2	〃	青少年センター運営事業	青少年の非行、被害防止、及び岩出市内の青少年を取り巻く環境浄化を目的に、補導活動、相談活動、広報活動を実施する事を目的とする。	非行の早期発見、早期指導、その他青少年の非行防止活動を行い、関係機関との連携を図る。	b	継続	パトロール、相談、関係機関との連携パトロール等実施できた。不審者情報で危険な場所等パトロールもでき、市民に安心感を与えることができた。今後、青少年の安全を守るため、学校・警察との連携を強化し、非行問題にも積極的に取り組むことに努める。
3	生涯学習の推進	放課後子ども教室推進事業	子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、小学校の放課後に地域の方々の参画を得て、学習活動・文化活動・地域住民との交流活動等を推進する事を目的とする。	安心・安全な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を推進するために、市内全小学校で実施する。 実施した教室の内容は、茶道・華道・将棋・囲碁等文化体験、地域住民との交流活動(昔の遊び)、軽スポーツ体験、よさこいや根来の子守唄などの伝統文化の伝承	b	継続	放課後子ども教室は、地域住民の参画を得て、子どもたちは様々な学習活動や文化活動を通じて、地域住民との交流を図るとともに、地域の教育力の向上に寄与でき、有意義な教室であった。課題として、学校行事等により、教室の開催時間等の変更があるので、連絡を密にする。
4	〃	公民館事業	市民の高まる学習意欲に対応した公民館運営に努め、公民館の充実を図る事を目的とする。	市民一人ひとりが生涯学習の各過程において、適切に学習できる“場”と“機会”の拡大を図り、あらゆる世代に親しまれる公民館活動を展開する。 公民館文化教室・夏と冬の子ども講座・公民館冬の講座・パソコン教室・成人講座・ふれあい学級・家庭教育学級・公民館フェア	b	継続	公民館文化教室は、幼児から高齢者までを対象に継続的に各種学級、講座を開設し好評であった。また、自主サークルの支援を図り、期待どおりの成果を得た。 今後も、市民のニーズに合った教室や講座を開催するよう努める。

平成22年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成22年4月1日～平成23年3月31日)

生涯学習課

総合評価

番号	主要施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
5	生涯学習の推進	民俗資料館体験学習事業	小・中学生歴史ウォーク体験学習 根来寺歴史散策と周辺の自然環境(植物・昆虫観察)を体験することにより、根来寺の歴史・文化・自然について興味を持ってもらい、日常の学習に役立てていただくとともに、親子の「ふれあい」と児童・生徒の交流の場となることを目的とする。	根来寺歴史散策 講師:稲田武彦・上野満智子(岩出市観光協会語り部部会) 自然体験学習 講師山田千恵子(環境学習アドバイザー) 日時:8月1日(日) 午前8時30分～午前11時30分 場所:根来寺境内	b	継続	参加者には、熱心に学習に取り組んでもらうことができた。また、親子のふれあいと、児童生徒の交流を図ることができた。今後も、多くの児童生徒の参加を得るための周知に努める。
6	〃	生涯学習振興事業	世代を超えて交流することにより、互いを尊重し誰もが生きがいをもって生涯にわたって学習するための環境づくりを進めるために開催する事を目的とする。	11月5日の文化祭の前夜祭として、生涯学習を考えるつどいコンサートを実施する。	b	継続	マリンバとピアノの合奏で、クラシックを中心に日本の秋の歌も交えた曲目を楽しむことができ、リピータも多くあり、参加者には好評であった。今後も、クラシックの催しは好評であるので、継続に努める。
7	〃	負担金・補助金事業	競技力の向上と育成、活動の活性化を図るため、スポーツ少年団・体育協会への補助金や県への負担金	市体育協会並びに市スポーツ少年団他に対して補助する。	b	継続	各種補助金は、青少年の健全育成や生涯スポーツの振興などに成果をあげることができた。今後も補助の継続は必要だと考えるが、補助金等については、実績等を精査する。
8	〃	市民運動会事業	市民へのスポーツ振興と、レクリエーションの普及・浸透を図り、よりよい人間関係をはぐくむとともに明朗・活発な人間育成に資する事を目的とする。	10月12日の体育の日に運動会種目(22種目)並びにスポーツアトラクション(6か所)を実施。	b	継続	多くの市民が参加して、健康増進を図り、市民相互のふれあいと交流を深めることができた。課題として、その時のニーズ等にあった競技種目の選定に努める。

平成22年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成22年4月1日～平成23年3月31日)

生涯学習課

総合評価

番号	主要施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
9	生涯学習の推進	岩出マラソン大会実行委員会助成事業	参加者に、健康と体づくりのため生涯スポーツの普及と振興を推進するとともに、マラソン大会を開催することにより、岩出市を広くPRすることを目的とする。また、参加者間の交流はもちろん、応援される方々、大会関係者等がお互いにふれあうことの素晴らしさをこの大会を通じて体感し、今後の「健康で明るい安全・安心なまちの実現」を目指すことを目的とする。	一般15kmの部、一般5kmの部、小学生3kmの部、ファミリー2kmの部、参加者2,200名募集 会場並びにコース:根来若もの広場(広域農道スタート～若もの広場ゴール) 平成23年3月13日(日)開催	b	継続	予想以上の申込者(2709名)で、市外からの参加者も多く、岩出市を広くPRすることができた。また、参加者間の交流により、互いにふれあうことができ、有意義な大会であった。課題として、今後も駐車場の確保に努める。
10	〃	スポーツ教室事業	市民のスポーツ振興を図り、健康で明るいまちづくりを推進する事を目的とする。	《親子体操教室》平成22年度に3歳になる幼児を対象に、保護者と一緒に行えるスポーツ教室として実施。(全20回 5月～7月9月～12月実施) 《ヨガ教室》市内在住または勤務している満20歳以上の方を対象に、実施。(全10回 5月～7月実施) 《エアロビクス教室》市内在住または勤務している満20歳以上の方を対象に、実施。(前期10回 5月～7月、後期10回 9月～12月実施)	b	継続	市民の健康増進や親子のふれあいに貢献できた。今後も、時代のニーズにあった教室の実施に努める。
11	〃	大会等派遣事業	スポーツ活動の振興とスポーツ活動団体の育成を図るため、各種スポーツ大会の出場に要する経費の一部を補助することを目的とする。	市スポーツ少年団及び市体育協会に属する者が大会に出場する場合の経費の一部を補助する。	b	継続	今年度は、全国大会5件、近畿大会6件、県大会10件の計21件の派遣補助を行い、スポーツの振興が図れた。
12	〃	若もの広場トイレ増設事業	障害者の社会参加を一層促進するため、整備することを目的とする。	トイレ:鉄骨造 平屋建て 洋式2基 和式5基 障害者1基(県補助100%)	b	完了	障害者及び女性の利便性向上が図れた。

平成22年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成22年4月1日～平成23年3月31日)

生涯学習課

総合評価

番号	主要 施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の 方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
13	生涯学習の推進	総合体育館身体障害用トイレ整備事業	障害者の社会参加を一層促進するため、多目的トイレ(オストメイト対応を含む)を整備することを目的とする。	1階身障者WC オスメイト新設・車イス対応便器及び手摺取替 2階身障者WC 車イス対応便器及び手摺取替(県補助100%)	b	完了	身体障害者の方の利便性が図られた。
14	文化・芸術の振興	文化祭事業	市民文化の一層の発展と充実を図るため、文化活動の成果を発表する機会を設け、文化活動の振興と普及を図るとともに参加を通じて薫り高い文化への理解を深め、心がふれあう活力あふれるまちづくりを推進する事を目的とする。	日時:平成22年11月6日(土)～7日(日) 場所:市民総合体育館ほか 内容:(テーマ 輝かそう 文化の華) ○作品展示 ○芸能発表 ○各種イベントコーナー	b	継続	入場者数21,248名と、多くの市民が来場され、市民相互のふれあいと交流が図られた。 今後、タイトルにあった文化祭を開催するため、企画・運営等を協議し、幅広い世代が参加出来る文化祭の開催に努める。また、多くの方々が出品できるよう周知に努める。
15	〃	企画展開催事業	市や次代を担う小・中学生に、市の歴史・文化に関心や理解を深めて、より一層郷土愛を培っていただくことを目的とする。	「根来寺と能面」をテーマに企画展を平成22年11月3日(水)から11月28日までの23日間開催。 記念講演会「紀州徳川家と能」平成22年11月13日(土)に講演会を開催。 講師 和歌山県立博物館学芸員 大河内 智之氏	b	継続	来館者には、能面の繊細かつ多様な造形に触れていただき、能の歴史についての知識を深めていただくことができた。今後も郷土に残る様々な歴史的資料を取上げた企画展示を行っていく。課題としては、記念講演の開催について、できるだけ多くの市民の方々に参加していただくため、関係機関及び市の文化協会加盟団体等への周知を図り、啓発活動に努める。

平成22年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成22年4月1日～平成23年3月31日)

生涯学習課

総合評価

番号	主要 施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の 方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
16	文化・芸術の振興	図書館子育て支援事業	子育てに関する書籍や情報を取りまとめ、育児中の母親等に提供することを目的とし、子育て支援コーナーを開設する。 各保育所(園)への訪問おはなし会を開催し、子どもが絵本や物語に親しむ活動を積極的に行うことを目的とする。	子育てに関する書籍や情報をわかりやすくとりまとめ、じっくりと本選びができない母親等に提供するための子育て支援コーナーを開設する。 妊娠・出産から手芸、父親向けの育児書まで幅広いジャンルを集書、行政や子育て支援団体等育児関連情報の案内等を紹介する。 大型絵本や紙芝居を購入し、図書館ボランティアにより、市内保育所の保護者参観時に訪問おはなし会を実施し、読書活動推進及び岩出図書館の利用促進につなげる。 また、大型絵本などを使って、保育園等に入園していない乳幼児及び保護者を対象におはなし会をボランティアの協力により実施する。	a	継続	総合保健福祉センター図書室に子育て支援コーナーを設置することにより、幅広い図書や大型絵本・紙芝居を購入し、図書資料や読書情報の整備・充実につながった。今後、子どもたちがえほんや物語に親しむ活動を積極的に行い、保護者に対しても、家族での読み聞かせ等の大切さや意義を広く、周知に努める。
17	〃	図書館利用促進事業	図書紹介や行事案内、サービス内容など様々な情報を発信したり、おはなし会、イベント事業、講演会を開催することにより、市民の図書館に対する理解や関心を深め、図書館利用の促進を図ることを目的とする。	岩出市広報誌やホームページ等を活用して図書館の各種案内等の情報発信を行います。 また、DVD上映会、おはなし会、各種体験教室、講演会等の開催を実施し、図書館の利用を促進する。	a	継続	定例会のおはなし会、DVD上映会、イベント等を開催により、図書館利用促進につながった。今後は、催しの開催時期や開催内容等検討しさらなる利用促進に努める。
18	人権尊重の推進	人権啓発活動地方委託事業	人権尊重思想の普及高揚を図り、市民に人権問題に対する正しい認識を広めることにより、基本的人権の擁護に資することを目的とする。	図書館主催事業の1つとして人権啓発講座を開催し、多数の市民が参加することにより、人権意識の向上を図る。 また、講師の著書や人権に関する図書を特別展示し、利用促進にも繋げる。	b	継続	人権問題に対する正しい認識を広めることができた。今後も、人権意識の向上・啓発に努める。
19	〃	保護者学級開設事業	学校の保護者を対象に、人権問題に関する認識と、人権教育を推進していくうえで家庭や地域が果たす役割について正しい認識を持つことを目的とする。	学校における人権学習に理解を深める。教材や歴史学習の内容について学習する。 人権に関わる講演会等の実施。	b	継続	学級を開設することにより、人権問題に関する正しい認識と家庭や地域での果たす役割について、理解を得ることができた。